

公共事業事前評価調書(平成26年度予算要望)

所管課: 河川課

担当班: 企画開発班

事業名	比謝川河川改修事業		事業区分	河川改修	事業主体	沖縄県
事業箇所	沖縄市安慶田					
事業の諸元	事業区間 L=1.4km 護岸改良 一式、河床掘削 一式、橋梁改築 一式					
事業の概要	本事業は、比謝川の二級河川指定区間延長15.932kmのうち、国道330号上流に位置する安慶田地区を洪水被害から防御することと、良好な河川環境の保全・創出を目的とする。					
事業の必要性・効果等	<p>&lt;必要性等&gt; 当該河川の国道330号上流区間においては、現況流下能力は計画流量より不足しており、平成14年の溢水氾濫など被害が発生している。また、下流の現事業区間は治水安全度で50年に1回程度の洪水規模に対して安全に流下させることが工事進捗により可能となるので、その上流となる当該区間も同様な治水安全度を早期に確保し、浸水被害の解消を行う必要がある。</p> <p>&lt;効果等&gt; ・水害の防御 ・自然や生態系の保全と創出</p>					
事業期間	事業採択	平成26年度	完了(予定)	平成35年度		
全体事業費	28.4 (億円)	補助・交付金・単独の別	交付金	補助率	9/10	
費用対効果	B/C = 3.1	総便益:B 286.7 (億円) ① 被害軽減期待額279.9億 ② 残存価値6.8億	総費用:C 92.6 (億円) ① 事業費82.9億 ② 維持管理費9.7億	基準年 平成23年度		
		B/Cは比謝川現事業区間込み				
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「2心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して(4)社会リスクセーフティネットの確立 イ災害に強い県土づくりと防災体制の強化」に位置付けられ、完成した倉敷ダムと併せて、河川の治水対策を行うこととする。					
環境への配慮	「自然環境に配慮した川づくり(多自然川づくり)」を基本方針とし、良好な自然環境の保全、環境への影響の低減及び環境の再生に努める。					
関係する地方公共団体等の意見	沖縄市から当該区間の浸水被害を早期になくして欲しいとの要望がある。					
概要図(位置図)	<p>凡例 想定氾濫区域 (水色) 浸水実績H14 (赤色)</p> <p>凡例 流域界 (緑色) 河川 (青線) 市町村界 (赤点線) 管理区間 (赤実線)</p> <p>事業区間 L=1.4km</p> <p>流域面積 49.7km<sup>2</sup></p>					